

2) 協議事項

(1) 令和5年度事業等計画

①総会

- ・令和5年度の報告、令和6年度の事業等計画について協議。
- ・令和6年6月に開催。

②企画運営会議

- ・令和5年度取組み進捗報告、今後の事業等計画について協議。
- ・第1回企画運営会議を令和5年10月中旬頃に開催。
- ・第2回企画運営会議を令和6年3月中旬頃に開催。

③環境保全活動

- ・協議会会員等と利用調整会議（保全活動ミーティング）で事前に活動場所や内容等を検討しながら、植生の目標像をめざした草刈や間伐等の保全作業、草原迷路やツツジ林の手入れなど環境保全に配慮した利用に関する活動を行う。
- ・年22回開催。
- ・各月の活動場所及び内容については、次ページ以降の「R5年度 環境保全活動計画図」及び「R5年度保全活動計画」を参照。
- ・R5年度は、東側樹林内の道づくりなどこれまで実施していなかった保全活動場所の追加や、草原のチガヤを増やす取組みなど、新たな保全作業を試みる。
- ・環境保全活動の午後の時間を、道具の使い方や自然クラフトの練習などスキルアップの時間に活用する。 ※令和5年6月より変更
- ・後述の利用調整会議（保全活動ミーティング）を環境保全活動の後、午前中に実施するため、作業終了時刻を20～30分早める変更を行う。 ※令和5年6月より変更

青：4月以降の変更箇所

信太山丘陵里山自然公園 R5年度保全活動計画

赤：令和5年度から追加または令和5年度のみ追加する内容

草刈り・除草作業

その他作業

場所等	4月		5月		6月		7月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	定例 15(22)	平日 18	定例 7(13)	平日 16	定例 4(10)	平日 20	定例 8(15)	平日 18	定例 3(9)	平日 19	定例 1(9)	平日 17	定例 5(18)	平日 21	定例 3(9)	平日 19	定例 8(20)	平日 16	定例 4(10)	平日 20	定例 10(16)	平日 19
西 西側草原 【西の大草原】		追加 チガヤ株 の移植苗 掘り取り	草刈り	追加 チガヤ株 の移植苗 掘り取り	追加 チガヤ分布 調査	追加 チガヤ移植	追加 チガヤ移植	追加 チガヤ移植														
疎林 【こもれび林】																						草刈り
西側ツツジ林 【ツツジの丘】																						草刈り
【草原迷路】		手入れ														手入れ						
東 東側草原 【信太の広場】 (2箇所)									草刈り	草刈り												草刈り
府大ツツジ林 【ツツジ実験林】 (2箇所)											草刈り											
竹林		若い竹周 辺の除草 等	←雨天順延で、予定してい た環境クラブの参加がなく な予定を変更。		範囲外の 竹やタケ ノコの伐 採	←事前確認時にタケノコが1 本しか確認されず、不要な 作業と判断。															枯れた竹 林の撤 去、間伐	枯れた竹 林の撤 去、間伐
展望所 【見晴らし台】								手入れ														手入れ
東側主園路 【尾根の道】							追加 野草植え 付け															草刈り
東側主園路 【谷の道】														草刈り								
尾根の道-大野池間の道 【池の散歩道】		草刈り											草刈り									
【スミレの小径】												草刈り										
竹林沿いの道																						草刈り
他副園路				追加 トンボ池 奥の道： 草刈り					追加 トンボ池 奥の道： 草刈り			副園路沿 い：野草の 植え付け (スミレ)	草原周辺 の副園 路：草刈り	J湿地周 辺の道： 草刈り								耕作地に 降りる道： ロープ張 り
A湿地 【段々湿地】																手入れ						
C湿地																手入れ						
D湿地																手入れ						
G湿地 【コモウセンゴケ湿地】																手入れ						手入れ
H湿地 【トンボ池】				追加 変更 防水シ ートの敷 設(轍の 方)		追加 変更 植物の鉢 植えを設 置																追加 変更 防水シ ートの敷 設(塹壕の 方)
J湿地 【イガの原食虫植物観察園】																手入れ						
定例活動日 午後の活動	6月より追加変更 たたき染めの練習 自然クラフトの練習(予定) プレイメントの準備(予定) ※道具の使い方や自然クラフトの練習などスキルアップの時間に活用(実施内容は活動参加者の希望を聞きながら検討)																					
備考	B湿地、E湿地、F湿地、I湿地は、保全活動以外の日程でFANクラブと市が協働で行う。 / カラヤゴミ拾いも保全作業とあわせて実施する。 / 活動日に、草原で確認した動植物を記録していく。																					

④利用調整会議

④-1. 保全活動ミーティング

- ・ 公民協働による自然環境保全活動や保全に配慮した利用等について検討する。
- ・ 環境保全活動の後に年 11 回開催。
- ・ 保全活動への内容検討段階からの参加に関心を持った人を増やす事を目的とし、開始時間をこれまでの午後からではなく、午前中の保全活動の直後に変更。 ※令和 5 年 6 月より変更

④-2. 事業計画ミーティング

- ・ 第 1 期開園時の公園管理運営について検討する。
- ・ 企画運営会議の事前に年 2 回開催。

【事業計画ミーティングでの検討内容案】

項目案	内容案
開園後の管理運営の検討	・ 指定管理者の管理内容 ・ 植生管理方針 など
開園後の協議会体制の検討	・ 協議事業と活動事業の体制検討

⑤信太山里山講座

⑤-1. 目標

- ・ 令和 5 年度は、受講生 30 人を目標とし、修了生はこれまでの修了生数の平均値 7.6 人を上回る 10 人を目標、会員登録者は目標とする修了生の 10 人全ての登録を目標とする。

【目標人数】

(人)

	将来目標	R5 年度目標	参考	
			累計 (H27 年～R4 年)	平均
受講生(申込者)	30	30	98	12.3
修了生	30	10	61	7.6
会員登録者	30	10	36	4.5

- ・ 目標を達成する為、広報の拡大・改善、選択講座の充実といった以下の改善策に取り組む。

【目標達成のための改善策】

項目	現状	改善策
受講案内パンフレット	・ 実践学習の説明が少なく、具体的な内容が伝わりにくい。 ・ 協議会の会員登録についての説明がない。	・ 実践学習の説明や写真を増やし、内容が伝わるようにする。 ・ 協議会の会員登録、協議会活動への参加を前提とした講座であるという説明を追加する。

項目	現状	改善策
広報	●パンフレット ・市内公共施設など約60箇所 ・地元学校区の回覧、掲示板 ・協議会所属町会への配布	●パンフレット ・パンフレット配布先の増加
	●ウェブ ・市役所ホームページで案内	●ウェブ ・市役所ホームページの里山講座のページにアクセスできるQRコードを印刷した案内カードを作成し、保全活動参加者等を通じて配布。
	●情報誌 ・市広報誌に掲載 〔掲載情報〕 日程、場所、申込方法	●情報誌 ・市広報誌の掲載情報に、募集対象を追加し、里山保全活動に関心のある人の参加を促す。 〔追加する募集対象案〕 里山保全活動に参加したい人、関心がある人
カリキュラム	・必修3講座、選択3講座（修了条件：必修3講座、選択2講座以上の受講） ・座学以外の講座は、環境保全活動日と同日同時刻に開催。	・可能な限り、環境保全活動の午後に講座を実施し、選択講座の対象となる環境保全活動を増やす。 〔参考：講座開催予定期間中の保全活動の内容（予定）〕 9月 野草の植付け 10月 ツツジ林の手入れ 11月 草原の草刈り 12月 草原迷路の更新 1月 ケイピンエース（クズの枯剝材）の打込み 2月 竹林管理

⑤-2. 令和5年度のカリキュラム

- ・必修講座3講座、選択講座2講座の受講を修了条件とする。
- ・基本的な知識及び技術を学ぶ講座であるため、必修講座の内容はこれまでと同じ内容を継続して実施する。
- ・選択講座のうち自然クラフト実践学習の内容は、信太山の自然素材を扱うクラフトとし、その内容は講師と調整の上決定する。
- ・選択講座の「自然環境保全活動」の回数を増やす。そのため、講座を定例活動日に実施する場

合は、出来るだけ午後からの開催とする。

・将来より多くの受講生を受入れられるようにする体制づくりを目指して、試験的に実践学習のサポートスタッフを、修了生OBから募集する。

・講座の開催期間※を、令和5年9月から令和6年2月とする。

※令和6年度以降の講座の開催時期を、9月ではなく4月からの開講に変更するか、今後の事業計画ミーティングや企画運営会議で検討する。

【令和5年度カリキュラム（案）】

カリキュラム		内容	講師案
区分	講座名		
必修	基礎講座	信太山丘陵里山自然公園について	信太山丘陵里山自然公園のテーマ・理念・経緯、里山的な環境、都市公園・緑地の役割について解説 藤原 宣夫氏 (大阪公立大学大学院 教授)
	実践学習	保全活動の実施について	信太山丘陵里山自然公園の自然環境、保護したい植物、除去したい植物等について現地を巡りながら解説 田丸 八郎氏 (NPO 信太の森 FAN クラブ) ※修了生 OB 有志による受講生のサポート
		公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ	環境保全活動に用いる道具や機械の安全な使い方の解説及び実践体験 三輪 健一郎氏 (NPO いずみの国の自然館クラブ) ※修了生 OB 有志による受講生のサポート
選択	実践学習	自然クラフト実践	信太山丘陵里山自然公園で採取できる自然素材を用いたクラフト実践 本藤 千賀子氏 (公園協議会) ※修了生 OB 有志による受講生のサポート
		自然クラフト実践	信太山丘陵里山自然公園で採取できる自然素材を用いたクラフト実践 ガールスカウト大阪府第28団 ※修了生 OB 有志による受講生のサポート
		自然環境保全活動	保全活動の体験 講師なし ※修了生 OB 有志による受講生のサポート
		自然環境保全活動	保全活動の体験 講師なし
※選択できる講座開催期間中の自然環境保全活動（定例活動）を増やす			

⑥自然観察会

- ・信太山丘陵里山自然公園における自然環境の固有性・独自性、保全の必要性について多くの人に周知することを目的とした自然観察会を開催。
- ・年2回開催（令和5年9月、令和6年2月）

⑦湿地調査

- ・貴重動植物種が生息する湿地(10箇所)について、継続的に変化を把握するための調査及びその維持管理手法等を整理した湿地管理台帳の作成、公開及び非公開情報等の検討。
- ・年3回（春・夏・秋）の調査を実施。
- ・春の調査で水質調査を実施。

⑧イベント

- ・開園イベントを公民協働で企画する。（参照：次頁「イベント開催概要」）

信太山丘陵里山自然公園
第1期開園イベント

開催概要

■開催趣旨
令和6年に信太山丘陵里山自然公園第1期開園区域が開園する事の市民への周知と、令和5年7月末に完成する管理棟の内覧会、利用プログラムの実践を目的とした、イベントを開催する。

■開催日程
2023年9月16日(土)
10時～15時
※雨天時は一部の内容のみ実施

■実施場所
信太山丘陵里山自然公園
第1期開園予定区域(管理棟含む)

■主催等
主催:和泉市
企画・運営:信太山丘陵里山自然公園協議会

■実施内容
・管理棟など第1期開園区域のお披露目見学
・公民協働による利用プログラム(自然クラフトや体験)、展示の実践

イベント企画イメージ

信太の森 FAN クラブや、いずみの国の自然館クラブ、協議会会員と協働で、利用プログラムや(自然クラフト、体験)、展示を企画する。

■全体スケジュール案

見学	室内体験	屋外体験
10:00～15:00 〔園内〕 ◎見学(西側エリア) ◎ウォークラリー 〔管理棟〕 ◎見学(室内、展示物)	10:00～12:00 〔園内・惣ヶ池湿地〕 ◎緑の自然観察会 12:00～13:00 〔広場〕 ◎ピザ窯体験	※同日開催 10:00～12:00 〔園内・惣ヶ池湿地〕 ◎緑の自然観察会 12:00～13:00 〔広場〕 ◎ピザ窯体験 13:00～15:00 〔草原〕 ◎バッタオリンピック 〔広場〕 ◎竹馬遊び ◎ノコギリ体験 〔場所未定〕 ◎綱引きロープを使った遊び
	13:00～15:00 〔管理棟〕 ◎クラフト体験(つる草や小枝のクラフト、染物など)	



■管理棟を使った企画

- ◎展示
パネル展示…理念・考え方、環境保全活動、季節の動植物や風景 など
映像展示…活動の様子などスライドショーまたは動画物の展示…クラフト作品など
- ◎クラフト体験
草や枝など自然の材を使ったクラフト体験



■草原を使った企画

- ◎バッタオリンピック
つかまえたバッタを台から飛ばして、飛距離を競う遊び



■園内や管理棟の見学等

- ◎園内、管理棟の見学
西側エリアの見学
管理棟内の見学
- ◎ウォークラリー
西側エリアを歩きながら、自然の物を探すピングゲームクイズや、ポイントに設置されたクイズに答えながら歩くウォークラリー



■綱引きロープを使った企画

- 例えば、管理棟の裏の斜面にロープを垂らしてよじ登る遊び、広場にロープを渦巻き状に置いて渦巻きじゃんけんをして遊ぶなど



■広場を使った企画

- ◎竹馬遊び
竹馬の体験
- ◎ノコギリ体験
ノコギリで間伐材を切る体験
- ◎ピザ窯体験
間伐材でピザを焼く体験



■草原迷路

- クイズに答えながら進む迷路

